

第45回デメンシアカンファレンスを開催

2018年12月20日

12月20日（火）に金沢医科大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第45回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスには、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構医王病院、国立病院機構北陸病院、谷野呉山病院、魚津緑ヶ丘病院、福井県立すこやかシルバー病院の9施設が参加しました。

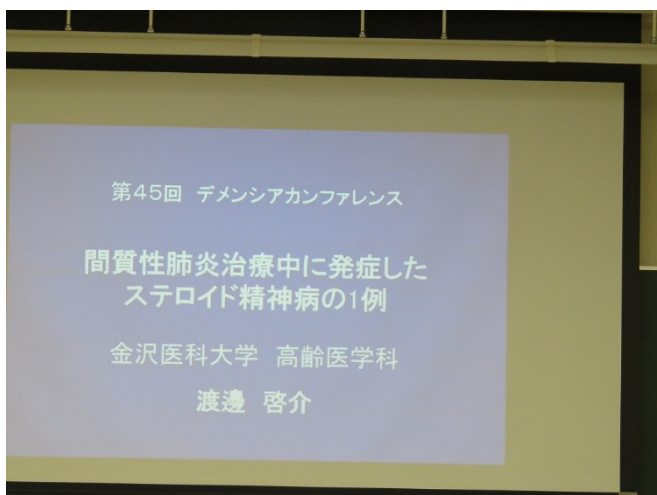
「間質性肺炎加療中に発症したステロイド精神病の1例」のタイトルで、質疑応答を挟みながら金沢医科大学からの症例報告で進められました。



症例発表の様子



各会場の様子



症例のスライド



金沢医科大学会場の様子

第 45 回 デメンシアカンファレンス 報告要旨

『間質性肺炎治療中に発症した ステロイド精神病の 1 例』

発表者：渡邊 啓介（金沢医科大学 高齢医学）

司 会：大黒 正志（金沢医科大学 高齢医学）

【要 旨】

症例は 77 歳男性。主訴は行動および言動の異常。既往歴に 73 歳 非閉塞性腸管虚血（回腸部分切除後）、77 歳癒着性イレウス、間質性肺炎 (PSL 12.5mg 内服)。X 年 7 月 6 日、定期の心臓血管外科受診後から本人の記憶が曖昧で、同日いつまでも帰ってこないため警察・消防に捜索依頼が出された。翌 7 日、無事発見されそのまま病院受診を勧められたが本人が強く拒否し一旦帰宅した。その後、家族から病院を受診するように促され、まず当院神経内科受診。てんかん、一過性全健忘に一致せず、認知症の可能性の精査の為、当科に紹介となった。身なりは整っていたが、言っていることが支離滅裂で多弁傾向。呼吸音は、右肺で fine crackles を聴取する以外は、血圧等を含め特に異常は認めず。採血データでは、軽度の貧血を認めた。MMSE 25 点、FAB 15 点、リバーミード行動記憶検査では、標準プロファイル得点は 22 点、スクリーニング得点は 11 点。胸部 CT では、右下肺に間質性肺炎に伴う変化を認めた。頭部 CT では、明らかな脳萎縮は認めなかった。脳血流シンチグラムでは、認知症関連領域の血流は比較的保たれていた。当科での精査実施中の X 年 7 月 29 日に間質性肺炎の再精査目的に当院呼吸器内科に再入院。その際にせん妄となり、PSL の内服が中止となった。その後、間質性肺炎の増悪なく PSL は中止のままとされたが、中止後は行動・言動の異常は消失した。経過からステロイド精神病と考えられ、PSL の内服は中止のままで現在まで増悪等なく経過している。

【質問・意見】

質問：PSL 内服はいつからですか。

回答：X 年 6 月間質性肺炎にて当院呼吸器内科入院時 (PSL 12.5mg 内服)。



文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラム
北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

第45回デメンシアカンファレンス

間質性肺炎加療中に発症した ステロイド精神病の1例

2018年12月20日(木)18:30~20:00

担 当 金沢医科大学 高齢医学
対 象 参加施設及びその他の施設の医療関係者(医療系大学の学生含む)
発信元 金沢医科大学 基礎研究棟3階大学院セミナー室

会 場 認プロ参加施設テレビ会議システム設置場所(○…参加者受入可)

- ・金沢大学 医薬保健学域医学類G棟2階第3講義室
- ・富山大学 附属病院2階カンファレンスルーム2
- ・福井大学 附属病院2階キャンサーボード室
- ・金沢医科大学 基礎研究棟3階大学院セミナー室
- ・国立病院機構医王病院 地域研修室
- ・石川県立高松病院 医局会議室
- ・国立病院機構北陸病院 特殊診療棟2階小会議室
- ・谷野呉山病院 共通棟1階ミーティング室
- ・魚津緑ヶ丘病院 5階会議室
- ・福井県立すこやかシルバー病院 管理棟2階応接室

申し込み不要

- ・出席される方は、受付で出席簿に氏名等をご記入下さい。
- ・教育コース履修者の方は、本人保管用の受講票を受理の上、検印を受けてください。

お問い合わせ

北陸認プロ運営事務局

〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL 076-265-2149 / FAX 076-234-4208

E-mail ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp / URL <http://ninpro.jp/>